



ウェルカム!
ジャパン!

米・ミシガン州のアルコール・薬物依存症者回復支援施設

ドーンファーム 回復スタッフ

ヴィンス

刑務所・若者プログラム担当



&



チャールズ

ホームレスプログラム担当

2016年
10/23日
9:30~16:30

を日本に迎えて学ぶ 依存症からの回復 セミナー

東京都北区
赤羽会館
4階
大ホール

ジャパンマックは1996年からアメリカのアルコール・薬物依存症回復施設であるドーンファームと交流を続けています。

今回、ドーンファームよりホームレスプログラムの担当者チャールズと刑務所・若者プログラムの担当者ヴィンセントのお二人をお招きして、彼らの回復の物語をお聞きし、担当しているプログラムについての研修を企画しました。

お二人の回復の物語や担当されている依存症回復支援の実態を知ること、私たちの仕事や生き方に多くの示唆をいただくと期待しております。

どなたでも
ご参加
いただけます。

参加費無料
申込不要

主催：ドーンファーム・スタッフを日本に呼ぶ会
後援：全国マック協議会



ドーンファームとお二人の物語

ドーンファームのプログラム

午前

プログラム

開場 9:00~

開会 9:30~

依存症からの回復に取り組んでいるご本人に
特に聞いていただきたいプログラムです！

ドーンファームの回復支援のお話しと
ディスカッション。

依存症者の回復支援に取り組んでいる関係者や
回復者スタッフに
特にご参加いただきたいプログラムです！

午後

プログラム

13:00~

16:30 閉会



ヴィンセント・スウェイン氏

私は2000年にドーンファームでソーバー
(依存物質を断ち、クリーンを保った状態)
になり、2001年からドーンファームで働いてい
ます。今年で16年間のソーバーになりました。

10年、若者のための治療奉仕活動部門で働き、
この2年は、『更生と刑務所プログラム』を
ワシュトノー郡に提供しています…つづく



チャールズ・コールマン氏

私はデトロイト市で、若く貧しい未婚の母
から生まれ、10代から現実逃避として
薬物やアルコールを使っていました。
何年間もやめようとしたのですが、出来ぬまま、
とうとうホームレスになってしまいました。

1998年にドーンファームの解毒施設を見学して
初めて「やめられるかもしれない！」と回復の希
望を感じました。回復入居棟の最初の入居者5人
の内のひとりになりました。

2001年に、『チャピンストリート・プロジェク
ト』のコーディネーターとなり、アナーバー市街
のホームレスに対してアウトリーチ(出張支援)を
しています。

彼らは以前の私そのものです。だから彼らが、
しらふで働く私の姿に希望を見出してくれると
信じています。これが私がドーンファームの仕事
を愛してやまない理由です…つづく



刑務所・若者プログラムについて

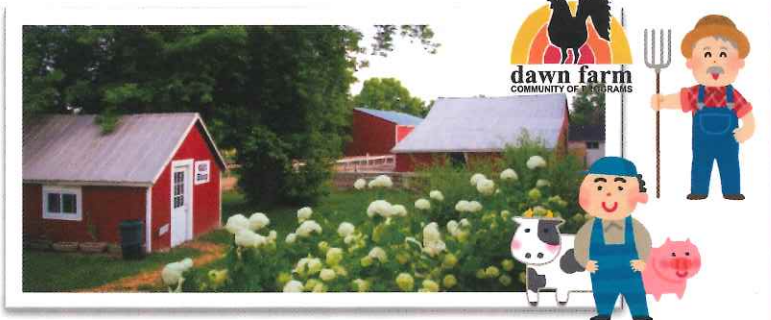
ヴィンセント・スウェイン氏



ホームレスプログラムについて

チャールズ・コールマン氏

&ディスカッション



ドーンファームは、1973年に2人の依存症回復者
によってミシガン州に創立された**依存症者回復支援施設**です。

●入所者は最初の回復の6か月にむけて、30万㎡の農場
で働いたり、グループセラピーやAAプログラムを用いた
支援を受けます。

●その後更に6か月間 アフターケアとして、付設のアパート
に移り、地域で就労・生活訓練を続けます。

創設以来、一度も資金難に陥ることなく、すべての依存症者
を受け入れ支援するなど、依存症支援の分野ではリーダー
的存在となっています。

会場 赤羽会館 4階大ホール

JR赤羽駅より徒歩5分

東京都北区赤羽南1-13-1 TEL:03-3901-8121



JAPAN MAC

お問合せは

ジャパンマック事務局へ

TEL : 03-3916-7878

<http://japanmac.or.jp>

FAX:050-3730-0095 メール:prosemi@japanmac.or.jp

〒114-0023東京都北区滝野川6-76-9 エスポワールオチアイ1階

